

## フランス学生交流会報告書

文責：峰松隆太郎

### 1. 概要

フランスの芸術交流学生会から、日本語研修の一環としてグランゼコールの学生に本学を訪問させてほしいという要望を受け実現に至った。日本語のセミナー参加者と東京近郊にホームステイ中の学生あわせて 80 名が大岡山キャンパスを訪問した。

### 2. 日程

2012 年 6/27,7/4,7/11,7/18

(人数が多かったため 4 回に分けて行った)

### 3. 参加者

日付	フランス学生	東工大生	学外からの参加者	SAGE スタッフ
6/27	4 人	13 人	0 人	5 人
7/4	17 人	8 人	0 人	5 人
7/11	31 人※	8 人	1 人	5 人
7/18	28 人	16 人	1 人	5 人

※東工大見学に来たフランス学生は 31 人であるが、交流会に参加したのはそのうち 14 人

### 4. 当日の活動

人数の都合から研究室と百年記念館は各日ともに最大 10 名（フランス学生数）のグループを作成し、1~4 グループに分かれて見学を行った。

時刻	内容	場所
12:40-14:00	昼食	第一食堂 1 階カフェテリア
14:00-14:50	部活動見学 ※	武道場
14:50-16:10	研究室見学（各グループ 2 回）	各研究室・実験室
16:10-17:00	百年記念館見学 ※※	百年記念館 2 階・地下 1 階
17:00-19:00	交流会	第一食堂カフェテリア

※ 7/11 と 7/18 ではこの時間帯に百年記念館見学を行った。

※※ 7/11 と 7/18 はこの時間帯にそれぞれ TSUBAME 見学、大学周辺の案内を行った。

### 5. 感想

今回の訪問受け入れは人数の都合から 4 回にわけて行った。最初の方は到着の大幅な遅れや直前の人数変更等から予定の変更を迫られ、訪問を引き受けてくださった研究室や部活動の方々にご迷惑をおかけすることになってしまった。また、交流会に来ていただいた方々の期待に十分に添うこともできなかった。この反省を受け、その後

は先方と事前に連絡を重ね意思の疎通をはかり、訪問学生の代表とも連絡がとれる状態をつくることで問題はいくぶんか改善することができた。

部活動見学は日本発祥の伝統的な競技という観点から剣道・柔道を見学した。どちらも現在では世界的に有名な競技ということもあり、楽しそうに見学する姿が見られ、柔道見学の際には経験者の学生が実際に道着を着て参加するなど活発な交流ができた。

研究室見学の際には、積極的に質問する場面が見られ意識の高さが伺えた。一方で専門の勉強をしたことがない1年生や、全く違う分野を専攻している学生にとって研究室での最先端の話題は少し難しかったようで、疲れた顔をしている姿もときおり見受けられた。

百年記念館では自由に見学でき様々なものを見てまわれる反面、説明文は日本語のものがほとんどでスタッフの英語力の未熟さもあり、その魅力を十分に伝えることは出来なかった。百年記念館の方で英語の資料を作成していただいた様なので、今後その資料が活用できると思われる。

交流会は1人500円の参加費を徴収し、軽食を交えて行った。フランス学生が日本語を少し話せたこともあり、全体的によく話している印象を受けた。また、しりとりをしたり漢字を書いたりして、楽しい時間を過ごした。東工大生にリピーターが多かったことので、満足度の高いイベントになったのではと思う。

SAGE スタッフの数に対して受け入れ数が多かったため戸惑う場面や問題が生じることもあり課題も残ったが、フランス学生はみんな満足気な表情をしており、東工大生と交流できたことに喜んでいる様子であった。



写真1 集合写真



写真2 交流会の様子